

生き返る

寒かった冬も3月早春の季節。希望に向かっての暖かさを感じるものです。卒業、就職、なかには定年をめめでたく迎えた方などさまざまです。なにより、健康で元気に過ごしたいものです。

久しぶりにリニューアルオープンした隣の街の温泉施設へ見学を兼ね行ってきました。多くの入浴客でかなり混んでいましたが、ゆっくり湯につきり身体をほぐすことができました。湯上がりの脱衣場でのことです。私の近くで、家族で来ていた方たちも衣服を着ていましたが、その時、幼稚園児ぐらいの男の子が「おじいちゃん。今度生まれ変わるとしたら人間以外何になりたいと思う？」と質問していました。何と答えられるかと思いましたが、返事はありませんでした。大人には難しい質問です。私も突然誰かに聞かれたらと考えました。子どもの質問は、単純そうに聞こえますが、まずお父さんに聞かず、おじいさんに尋ねたこと、そして人間は必ず死ぬということ、また生まれ変わるということ、更に人間以外ということになると男の子の言葉は、中身が深い言葉だと感心すると同時に、何か教えられたような気がしました。ただ男の子の様子を見ていたら、どうもアニメの怪人、怪獣を予想していたのではないかと思いましたが、着眼点のするどさに感心しました。

先日、高森顕徹著の「^{たんにしやう}歎異抄」という本が発売後、16万部を突破したという新聞広告を見ました。直接宗教的な本ではないと思いますが、なぜか目に止まりました。宮城県石巻市で18歳そこそこの少年が、人を2、3人殺傷したというニュース報道を見ましたが、自分の思うようにならないと簡単に人を殺す世の中。また生まれ変わるとも思っているのでしょうか。若年者ではすまされないと思うのですが、心の持ち方の大切さを痛感したところです。

養老町長 福葉貞二

貴重な財産、文化財を守れ 田代神社で消防訓練

第56回文化財防火デーにあわせて、田代神社(高田)で消防訓練を1月22日(金)に実施しました。これは昭和24年1月26日、奈良の法隆寺金堂壁画が焼損したことから「文化財を災害から守ろう」を合い言葉に全国各地で実施されているものです。その一環として、本町でも毎年この時期に文化財が保存されている施設で行っています。

今年、「社殿より出火、隣接の養老幼稚園児が見学にきていて、避難の際、園児および保育士が負傷した。」との想定で、地元住民、田代神社、養老幼稚園、町消防本部、町教育委員会から約150人が、本番さながらの訓練に真剣な表情で取り組みました。



▲放水活動中

町消防団幹部・新入団員 講習会を実施

1月24日(日)、町総合体育館で消防団幹部ならびに新入団員の講習会を実施しました。階級が班長以上の幹部と今年消防団に入団した103人の新入団員あわせて総勢約230人が参加しました。幹部は、体育館全面を使って訓練礼式を行い、新入団員は、消防団員としての役割、いつで

も火災現場で対応できる心得などの講話を聴講後、寒風吹き荒れる中、屋外にて訓練礼式の基礎を幹部より受講しました。団員らは、養老町民の生命、身体、財産を守る消防団の活動に対する地域住民の期待の大きさを感しながら、真剣な表情で受講していました。



▲講習会の様子

住宅用火災警報器の 設置をお急ぎください

いち早く知らせ
避難することが
命を救います。

詳しくは、
養老消防署 予防課
TEL.32-0012 まで

